

令和8年1月21日

自由民主党政務調査会 会長代行
自由民主党生活衛生議員連盟 会長
自由民主党観光産業振興議員連盟 会長代行
衆議院議員 田村憲久 先生

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
会長 井上 善博

【 要 望 】

労働関係基準法制の見直しにおける宿泊観光産業の実態を踏まえた勤務間インターバル制度の検討のお願い

現在、政府において労働関係基準法制の見直しが進められており、その中で勤務間インターバル制度の義務化も検討されているものと認識しております。

労働者の健康確保や過重労働の防止については、宿泊観光業界としても従来より最大限の努力を重ねてまいりました。勤務間インターバル制度の趣旨については賛同するところでございます。

一方で、宿泊観光産業は一般的なオフィス勤務とは異なり、緊急のお客様対応等による不規則な勤務や、中抜け勤務といった変則的な勤務形態とならざるを得ない特性がございます。

実態にそぐわない制度の一律的な義務化は、宿泊施設における人手不足の深刻化を招き、稼働率やサービス品質の低下を通じて施設機能の低下をもたらすおそれがあります。ひいては、地域観光全体への大きな影響にもつながりかねません。

各宿泊施設においては、中抜け時間を含めれば11時間を超える休憩時間を確保している実態もございます。こうした状況を踏まえ、制度の柔軟な運用を認めるなど、宿泊観光産業の実態に即した制度設計についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

以上